

## トンボの生活と生態

トンボは水辺で多くみられます。それはトンボの幼虫（ヤゴ）が水中で生活することと、成虫になってメスとオスが会い、交尾して産卵して世代をつなぐために水辺に集まるからです。水がないと卵から幼虫、そして成虫へと成長することはできません。まさに水がトンボの命を育てているのです。しかし、水辺であれば、いろいろなトンボが生息しているわけではありません。トンボの幼虫が適合する水環境は種類ごとに違います。環境を知ることによってお目当てのトンボに出会う確率が増えますね。

## 羽化の様子

早朝に1時間ほどかけてヤゴからトンボへと変身します。

## トンボのライフサイクル

トンボの一生は 卵⇒幼虫⇒成虫 というサイクルで進み、セミやバッタなどと同様、蛹にならない不完全変態です。幼虫は何度か脱皮を繰り返して大きくなっていきます

## 色彩の変化

オスとメスでも色に違いがある他、羽化直後のトンボは白っぽいですが、成長するにしたがって色鮮やかになっていきます。トンボを見分ける難しさの要因のひとつですね。



## トンボは肉食

ヤゴ(幼虫)は成虫同様に肉食です。ボウフラ、ミジンコ、オタマジャクシ、小魚などを食べます。成虫になると、他の昆虫を食べます。水中でも陸上でも蚊の天敵はトンボと言えます。そこで、蚊が多くて困っていた観光地がトンボを育てる工夫で蚊を減らしたという話もあります。



## トンボの目玉は複眼

とんぼの目玉は大きくて美しいですね。よく見ると小さな目がたくさんあつまっていてひとつひとつが六角形をしています。そのひとつひとつで光を感じるようになっていています。どんな風に見えるのでしょうか？



オオアオイトトンボ